

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------------------------|--------|-----------------|---------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダル知識ⅠA | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | ブライダル知識ⅠA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキストスタンダード | | 出版社 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト60% 小テスト20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | ブライダルコーディネーター技能検定3級 | | | | |
| 関連科目 | ブライダル知識ⅡA ブライダル知識ⅡB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 中島 美幸 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | ゲストハウスでウェディングプランナー6年、レストランでプロデュース業を3年務めた経験を活かし、ブライダルの基礎知識・用語・業界特性を教授する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------------------|--|
| 1 | ブライダルコーディネーターの定義 | ブライダルコーディネーター技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する |
| 2 | 結婚の定義 | 結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する |
| 3 | 結婚の定義 | 結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る |
| 4 | 日本の結婚式・歴史と文化① | 日本の結婚の歴史について学ぶ |
| 5 | 日本の結婚式・歴史と文化② | 日本の結婚の歴史について学ぶ |
| 6 | 日本の結婚式・歴史と文化③ | 日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る |
| 7 | 日本の結婚式・歴史と文化④ | 結婚に関する風習・いわれについて学ぶ |
| 8 | 欧米の結婚式・歴史と文化① | 欧米の結婚式の歴史について知る |
| 9 | 欧米の結婚式・歴史と文化② | 欧米の結婚式の歴史について知る |
| 10 | 欧米の結婚式・歴史と文化③ | 欧米の結婚式について知る |
| 11 | 欧米の結婚式・歴史と文化④ | 欧米の結婚式について知る |
| 12 | ブライダルビジネス ブライダル市場 | ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する |
| 13 | ブライダル業種 | ブライダル関連業種について理解する |
| 14 | 前期総まとめ | 前期の学習内容を確認する |
| 15 | 振り返り | 振り返りとまとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------------------------|--------|-----------------|---------------------|----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダル知識ⅠB | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | ブライダル知識ⅠB | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキストスタンダード | | 出版社 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|------|---|------|--|--|--|
| エリア | 現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識と用語を理解し、使いこなせる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト60% 小テスト20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | ブライダルコーディネーター技能検定3級 | | | | |
| 関連科目 | ブライダル知識ⅡA ブライダル知識ⅡB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 前期ⅠA振り返り ブライダル関連業種 | 前期で学んだⅠAの内容を振り返る ブライダル関連業種について理解する |
| 2 | エリア特性 ブライダル業界の1年 | 結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の1年の流れと集客システムについて理解する |
| 3 | 見合いと婚約① | 見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ |
| 4 | 見合いと婚約② | 見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ |
| 5 | 結納・婚約式① | 結納について学ぶ |
| 6 | 結納・婚約式② | 結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ |
| 7 | ブライダル準備 キリスト教式 | 結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ |
| 8 | 神前式① | 神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第① |
| 9 | 神前式② | 神前式式次第② |
| 10 | 仏前式 挙式スタイル小テスト | 仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて小テスト |
| 11 | 人前式・シビルマリッジ | 人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ |
| 12 | 披露宴 | 披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ |
| 13 | 披露宴の演出プラン | 披露宴の進行について理解する |
| 14 | 後期総まとめ | 後期の学習内容を確認する |
| 15 | 振り返り | 振り返りとまとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|--------|-----------------|-------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 未来デザインプログラムⅠ | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 未来デザインプログラムA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 「7つの習慣」テキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ) | | 出版社 | FCEエデュケーション | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト20% 授業態度40% 提出物40% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 武井 亮子 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|------------------|--|
| 1 | 専門学校へようこそ！ | 夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKOワークコンピテンスの理解を深める |
| 2 | 7つの習慣とは？ | 7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ |
| 3 | 自分制限パラダイムを解除しよう！ | 自分制限パラダイムの意味について学ぶ |
| 4 | 自信貯金箱 | 自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ |
| 5 | 刺激と反応 | 「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ |
| 6 | 言葉〜ことだま〜 | 言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ |
| 7 | 影響の輪 | 集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ |
| 8 | 選んだ道と選ばなかった道 | 自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ |
| 9 | 割れた窓の理論 | 規則を守る大切さ、重要性を理解する |
| 10 | 人生のビジョン | 入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする |
| 11 | 大切なことは？ | なりたいたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけでなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ |
| 12 | 一番大切なことを優先する | スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ |
| 13 | 時間管理のマトリクス | 第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ |
| 14 | 私的成功の振り返り | 前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う |
| 15 | リーダーシップを発揮する | リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|--------|-----------------|-------------|---|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 未来デザインプログラムⅡ | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 未来デザインプログラムB | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 1 |
| 使用教材 | 「7つの習慣」テキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ) | | 出版社 | FCEエデュケーション | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分に身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト20% 授業態度40% 提出物40% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|------------------|--|
| 1 | 信額貯金箱 | 信額貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ |
| 2 | Win-Winを考える | お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ |
| 3 | 豊かさマインド | 人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ |
| 4 | 理解してから理解される | 人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があることを学ぶ |
| 5 | 相乗効果を発揮する | 人と違いがあることに価値があることを学ぶ |
| 6 | 自分を磨く | 自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える |
| 7 | 未来は大きく変えられる | 人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ |
| 8 | 人生ビジョンを見直す | 将来のなりたて姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する |
| 9 | 未来マップを作ろう① | 未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める |
| 10 | 未来マップを作ろう② | 未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする |
| 11 | 感謝の心 | 人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える |
| 12 | 7つの習慣復習 | 7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的成功に先立つことを理解する |
| 13 | 未来デザインプログラムの振り返り | 7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習(知識確認)する |
| 14 | 2年生に向けて① | 1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える |
| 15 | 2年生に向けて② | 1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|------------------------------------|--------|-----------------|---------|----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ブライダルビジネスマナー | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルビジネスマナー | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集3級 | | 出版社 | 早稲田教育出版 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。 | | | | |
| 到達目標 | サービス接客検定3級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。 | | | | |
| 評価基準 | 小テスト30% 提出物30% 検定合格40% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | サービス接客検定3級 | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 玉木 真弓 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 日本航空でCAとして12年勤務、一般企業受付、医療関係者向けパーソナルカラー診断のワークショップでの経験を活かし、現場の知識を身に着ける授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------|--|
| 1 | ビジネスマナーとは | サービススタッフに必要とされる要件について学ぶ 身だしなみについて学ぶ |
| 2 | サービススタッフの 資質・専門・一般知識 | サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ |
| 3 | 対人技能 | 対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ |
| 4 | 敬語 | 敬語について学ぶ |
| 5 | 実務技能 | 実務的な技能を学ぶ |
| 6 | 慶事・弔事のマナー | 社交業務について学ぶ |
| 7 | 接客者としての知識 | 接客者について学ぶ |
| 8 | 検定対策 | 過去問題より検定対策を行う |
| 9 | 社外文書① | 社外文書の書き方を学ぶ |
| 10 | 社外文書② | |
| 11 | 電話対応 | 電話対応の方法について学ぶ |
| 12 | 名刺交換・お茶出し | 名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ |
| 13 | 面接のマナー | 面接試験のマナーについて学ぶ |
| 14 | 受付から誘導まで | 受付から誘導までの方法を学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 振り返りとまとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|---------|----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | パーソナルカラー | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | パーソナルカラー | | |
| 開講 | | | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック | | 出版社 | クリエスクール | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する。 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる。 | | | | |
| 評価基準 | 小テスト40% 提出物30% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | パーソナルカラーコーディネイト検定 | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 玉木 真弓 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | 日本航空でCAとして12年勤務、一般企業受付、医療関係者向けパーソナルカラー診断のワークショップでの経験を活かし、現場の知識を身につける授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------|---|
| 1 | パーソナルカラーについて | パーソナルカラーの重要性を知る |
| 2 | 色の性質① | 色の持つ性質や特徴・有彩色と無彩色・色の三属性を理解する |
| 3 | 色のトーン① 色の心理的効果 | トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ 色の心理的効果を理解する |
| 4 | 配色① | 配色の基礎を学び、配色構成を理解する 色相環・トーンを理解した上で配色を考える |
| 5 | 配色② | イメージ配色の重要性を理解する 和装の配色方法を学ぶ |
| 6 | 光の三要素 眼のしくみ | 色がなぜ見えるのかを学ぶ 三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ |
| 7 | 対比・補色対比 混色 | 対比・補色対比について学ぶ 加法混色と減法混色を学ぶ |
| 8 | 色のトーン② | トーンの4つのグループの特徴を理解する |
| 9 | 色のトーン③ | メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする / ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする |
| 10 | 検定対策① | 検定対策を行う |
| 11 | 検定対策② | |
| 12 | 検定対策③ | |
| 13 | パーソナルカラー判定① | 自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする |
| 14 | パーソナルカラー判定② | 各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する |
| 15 | 総合学習 | 振り返りとまとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------------|--------|-----------------|-----|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | キャリアデザインⅠA | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | キャリアデザインⅠA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | CAREER SUPPORT BOOK | | 出版社 | - | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。 | | | | |
| 到達目標 | 就職活動の流れを理解する。魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。 | | | | |
| 評価基準 | 授業態度30% 提出物40% 面接30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | キャリアデザインⅠB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 藏下 華蓮 他1名 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------------------|---|
| 1 | キャリアデザインについて 就職活動の流れを理解する | キャリアデザインの授業の重要性について知り、就活の流れを理解する (ISの復習込み・1day) スタプロ継続が就活、その先の仕事に繋がることを理解し、学校生活のルールを確認する |
| 2 | ブライダル業界・職種について 就職活動サイト登録・メールの送り方 | ブライダル業界の魅力や大まかな職種を知り自身の職種について考える (インターンシップ対策と運動) マイナビ、リクナビに登録をする |
| 3 | 企業調べ・企業研究について 就活ノートのまとめ方・活用方法 | 企業担当一覧を元に検索、気になった企業名を挙げていき、企業情報のまとめ方・調べ方を知る 先輩の就活ノートを参考に、まとめ方や活用方法を知り、作成を始められる状態とする |
| 4 | 働くことをイメージする 就活の軸・求人票の見方 | 就活の軸を考える 求人票の見方・福利厚生等を知る |
| 5 | 就活の軸・自己分析について 身だしなみについて | 就活の軸を考え、過去分析を行う 7月就職イベントに向けた身だしなみについて理解する |
| 6 | 自己分析について 伝え方(文章構成)の方法を学ぶ | 現在から未来について考える PREP法について学び、文章構成の作り方を理解する |
| 7 | コース分け 自己分析を行いPREPで文章を考える | 各コースの違いと特徴について知る 自己分析と運動して、PREP法で文章を作成する |
| 8 | 自己分析について① | 自己分析ワークを行う |
| 9 | 自己分析について② | 個人面談で就活の軸の深堀りを行う |
| 10 | 自己分析について③ 1dayインターンシップについて | 自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深堀りを行う 1dayインターンシップについて知る |
| 11 | 自己分析について イベントへ参加姿勢・身だしなみチェック | 自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深堀りを行う 就活イベントの参加姿勢を理解し、身だしなみ確認を行う |
| 12 | SPIとは グループディスカッションとは | SPI・グループディスカッションとは何かを理解し、何を意識して実施するかを理解している 電話とメールのマナー (インターンシップ対策と運動)、署名設定する |
| 13 | グループディスカッション実施① | グループディスカッション振り返り |
| 14 | グループディスカッション実施② | 実践を行う |
| 15 | 総合授業 | 学習の総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------------|--------|-----------------|-----|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | キャリアデザインⅠB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | キャリアデザインⅠB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | プライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | CAREER SUPPORT BOOK | | 出版社 | - | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。 | | | | |
| 到達目標 | 就職活動の流れを理解する。魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。 | | | | |
| 評価基準 | 授業態度30% 提出物40% 面接30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | キャリアデザインⅠA | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | 就活のスケジュール クラスコミュニケーション | 就職の流れを改めて確認し、証明写真撮影に向けて身だしなみの再確認を行う クラス間コミュニケーションワークを実施する |
| 2 | 早期選考について 企業を知ることの重要性 | 企業の早期選考について理解し、就職の準備を行う |
| 3 | 企業調べ・企業の志望動機の文章構成 面接導入 | 企業の調べ方とどういふポイントを見ていくのかを理解し、自身の就活軸との結び付け方を考える 志望動機の書き方を理解する / 面接の導入を行う |
| 4 | 身だしなみ ESの書き方・面接対策 | 証明写真にふさわしい身だしなみ確認を行う エントリーシートの種類を知る・エントリー動画のポイントを理解する / 面接対策(学校名・名前の練習)を行う |
| 5 | 面接練習① | 面接練習を行う 同時に志望動機・エントリーシート作成、SPI・一般常識対策を実施する |
| 6 | 面接練習② | |
| 7 | 面接練習③ | |
| 8 | 面接練習④ | |
| 9 | 面接練習⑤ | |
| 10 | 面接練習⑥ | |
| 11 | 面接練習⑦ | |
| 12 | 面接練習⑧ | |
| 13 | 面接練習⑨ | |
| 14 | 面接練習⑩ | |
| 15 | 内定後のフロー 総合授業 | 内定後のフローについて理解する 学習の総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--------------------------------|--------|-----------------|------------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | マーケティング | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | マーケティング | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード | | 出版社 | リクルート 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する。 | | | | |
| 到達目標 | ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことが出来る。 | | | | |
| 評価基準 | プレゼンテーション50% テスト40% 授業態度10% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | ブライダルプロジェクトⅠB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------|---|
| 1 | マーケティングの必要性 | マーケティングがなぜ必要なのかを理解する |
| 2 | ブライダルビジネスについて | ブライダル市場は具体的にどのような内容を指すのか理解する これまでのブライダル市場の推移について知る |
| 3 | ターゲットの選定 | コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る |
| 4 | 商品の決定 | ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える |
| 5 | 集客システムについて | ブライダル業界の集客システムはどのようなになっているのかを理解する |
| 6 | 商品の告知方法 | 商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る |
| 7 | コンペティション準備① | ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める |
| 8 | コンペティション準備② | |
| 9 | コンペティション準備③ | |
| 10 | コンペティション準備④ | |
| 11 | コンペティション準備⑤ | |
| 12 | 企業コラボ① | ブライダル企業の方に講話いただき、業界の現状と対策について理解する |
| 13 | 企業コラボ② | |
| 14 | 総まとめ | 半期の学習内容を確認する |
| 15 | 振り返り | 振り返りとまとめを行う |

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|--------------------------|---|--|-----------------|------------------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ドレスデザインA | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ドレスデザインA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス | |
| 科目の基礎情報② | | | | | |
| 授業のねらい | 衣装の知識を学び、検定を取得する。 | | | | |
| 到達目標 | 後期に受験予定の全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト70% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定 | | | | |
| 関連科目 | アテンド実践A・ドレスデザインB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 佃 光恵 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | ベルヴィ 武蔵野衣装部にて6年間勤務した実務経験を活かし、衣装に関連する検定取得に向けて、衣装や小物についての知識を深める授業を展開する。 | | | | |
| 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります | | | | | |
| 各回の展開 | | | | | |
| 回数 | 単元 | 内容 | | | |
| 1 | ドレスの構造とデザイン | 歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ | | | |
| 2 | ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材 | ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ | | | |
| 3 | ドレス各部のデザイン | シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ | | | |
| 4 | ドレス各部のデザイン | ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ | | | |
| 5 | ドレスフィッティング実習 | 前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する | | | |
| 6 | ドレスフィッティング実習 | ドレスフィッティングを実践する | | | |
| 7 | ウェディングドレスに合わせる小物 | ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ | | | |
| 8 | ウェディングドレスに合わせる小物 | アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ | | | |
| 9 | ドレスのサイズ展開と採寸・補正 | 日本、欧米のサイズ展開を学ぶ | | | |
| 10 | ドレスのサイズ展開と採寸・補正 | 採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ | | | |
| 11 | 男性の洋装 | 男性の洋装について学ぶ | | | |
| 12 | 男性の洋装 | 男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する | | | |
| 13 | ヘアースタイルによる スタイリング効果 | ドレスシルエットとヘアースタイルのバランスを学ぶ | | | |
| 14 | 総まとめ | 半期の学習内容を確認する | | | |
| 15 | 振り返り | 振り返りとまとめを行う | | | |

| 科目の基礎情報① | | | | | |
|--------------------------|--|---|-----------------|------------------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | ドレスデザインB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ドレスデザインB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス | |
| 科目の基礎情報② | | | | | |
| 授業のねらい | 衣装の知識を学び、検定を取得する。 | | | | |
| 到達目標 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト70% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定 | | | | |
| 関連科目 | ドレスデザインA | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |
| 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります | | | | | |
| 各回の展開 | | | | | |
| 回数 | 単元 | 内容 | | | |
| 1 | 体型によるスタイリング効果 | 体型別のスタイリング方法を学ぶ | | | |
| 2 | 体型によるスタイリング効果 | | | | |
| 3 | フィッティング実習 | ドレス・タキシードのフィッティングを実践する | | | |
| 4 | ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場 | ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る | | | |
| 5 | 和装衣装 | 新婦和装衣装について学ぶ | | | |
| 6 | 和装衣装 | | | | |
| 7 | 和装衣装 列席者衣装 | 新郎和装、列席者の衣装について学ぶ | | | |
| 8 | 衣装店のビジネスと市場について | 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る | | | |
| 9 | 衣装店のビジネスと市場について | 衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る | | | |
| 10 | 検定前対策 過去問題より | ドレススタイリスト検定対策問題を行う | | | |
| 11 | 検定前対策 過去問題より | | | | |
| 12 | 検定前対策 過去問題より | | | | |
| 13 | 検定前対策 過去問題より | | | | |
| 14 | 総まとめ | 半期の学習内容を確認する | | | |
| 15 | 振り返り | 振り返りとまとめを行う | | | |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----|--------|------------|-----|--|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | インターンシップ対策 | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | インターンシップ対策 | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 1 | 15 | |
| 使用教材 | — | | 出版社 | — | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | インターンシップを行なう上での基礎知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている。インターンシップを始めるための準備が整っている。現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身についている。 | | | | |
| 評価基準 | 提出物 30% 授業態度40% レポート 30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 浅野 愛 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | TBCグループ株式会社でエステティシャンとして5年半勤務。この経験を活かし、企業から見た視点での授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---|--|
| 1 | 結箱式の理解を深める インターンシップの概要説明① (1dayとアルバイトの違い) | 職種理解を深める (式場・ホテル・ドレス・ジュエリー・フォト・フラワーなどの違いとやりがいを知る) インターンシップの規定・1dayとの違い・アルバイトとの違いを理解する |
| 2 | インターンシップ概要説明② | 単位数・就職との繋がり インターンシップの職種・契約期間・勤務日や日時について |
| 3 | 企業リサーチの仕方 | ブライダル企業を調べてみる |
| 4 | 企業リサーチ | 興味を持った職種にまつわる企業様を調べてみる 全国企業を知る |
| 5 | 企業理解を深める | 企業様のお話を聞いて企業理解を深める |
| 6 | 身だしなみ 先輩動画 | 髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践 実際にインターンシップに行っている先輩の声をきく |
| 7 | 履歴書の書き方 業界の志望動機 | 履歴書の書き方やポイントを理解する 志望動機の書き方を知った上で、なぜブライダル業界がいいのかを考えてみる |
| 8 | 履歴書の書き方 業界の志望動機 | 過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する |
| 9 | 履歴書の書き方 業界の志望動機 | 過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する |
| 10 | 履歴書の書き方 業界の志望動機 | 履歴書を完成させる |
| 11 | 面接練習① | 対面面接のポイントを知る |
| 12 | 面接練習② | 面接の実践 |
| 13 | 面接練習③ | オンライン面接を知る |
| 14 | 電話やメールの仕方 接客対応について | 企業様と失礼のないやりとりができるようになる ビジネスマナーや接客についての理解を深める |
| 15 | 総合学習 | インターンシップに必要な対人力を磨く インターンシップ手帳の書き方や提出方法を理解する |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------------------------|--------|-----------------|-----|---------------------|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | アテンド実践A | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | アテンド実践A | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 1 |
| 使用教材 | ブライダルコーディネーターテキストスタンダード | | | 出版社 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れを理解する。 | | | | |
| 到達目標 | 衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する。 | | | | |
| 評価基準 | テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトⅠA | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 佃 光恵 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | ベルヴィ武蔵野衣装部にて6年間勤務した実務経験を活かし、現場で学んだ知識を活かして、即戦力となる人材を育成する授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------|--|
| 1 | 結婚式について アテンド（介添）について | 結婚式の種類・アテンド（介添）について知る |
| 2 | 当日のアテンド（介添） 業務について | 新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ |
| 3 | アテンド（介添）に 求められる要素 | アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える |
| 4 | アテンド（介添）について （説明） | 挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、パール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） / アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方） |
| 5 | アテンド（介添）について （説明） | 和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ |
| 6 | アテンド（介添）について （実践） | 新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う |
| 7 | 挙式のアテンド① （実践） | 挙式の流れ通りにロールプレイングを行う |
| 8 | 挙式のアテンド② （実践） | |
| 9 | 挙式のアテンド③ （実践・振り返り） | 挙式アテンドの振り返りを行う |
| 10 | 挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習） | ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う |
| 11 | 挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習） | |
| 12 | 挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習） | |
| 13 | 配慮が必要なお客様への対応 | 配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える |
| 14 | 総まとめ | ここまで学んできた内容をアウトプットする |
| 15 | 総合学習 | 振り返りとまとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------------|--------|-----------------|-----|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | フラワーアレンジ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | フラワーアレンジ | | |
| 開講 | | | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門 | | 出版社 | 講談社 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|---|--|
| 授業のねらい | ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 授業態度30% 検定合格40% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | ブライダルフラワーアレンジメント | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 松井 里英 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | 国内ホテルにてブライダル装花担当3年・都内スタジオフローリスト10年・フリーフローリスト/ブライダル装花担当20年の勤務経験に基づき、資格取得に向け様々なスタイルの作製を行う授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------------|--|
| 1 | フラワーデザインについて リボン作成 | フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ リボンの作り方を学び、実践する |
| 2 | コサージュ・ブートニア | ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う |
| 3 | 花束・ラッピング | ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う |
| 4 | ゲストテーブル①(ドーム型) | ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う |
| 5 | ラウンドブーケ① | ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う |
| 6 | ゲストテーブル②(水平型) | テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う |
| 7 | メインテーブル | 水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する |
| 8 | いろいろなアレンジ | ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する |
| 9 | キャスケードブーケ | ラウンドブーケの作り方を応用し、キャスケードブーケを作成する |
| 10 | 振り返り | ここまでの学習内容の振り返りを行う |
| 11 | トライアングラー | 三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する |
| 12 | フローラルアクセサリー | ウェディングにおいてのフローラルアクセサリーの種類を学び、作成する |
| 13 | ラウンドブーケ② | ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成 |
| 14 | ブライダル装花 | グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する |
| 15 | 総合授業 | 総まとめ |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----|--------|-----------------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルプロジェクトⅠA | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | ブライダルプロジェクトⅠA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | - | | 出版社 | - | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。 | | | | |
| 到達目標 | 挙式の一連の流れを理解する。 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることが出来る。 | | | | |
| 評価基準 | 授業態度40% 制作物40% 振り返り20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | アテンド実践A | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 吉良 早耶香 他3名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | フォトスタジオで副店長として勤務し、カメラマン・ヘアメイクとして年間400件以上の記念写真を担当。ブライダルフォトにも精通し、これまでの経験から業界への魅力付を行い、即戦力となる人材を育成する授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 概要の把握 | 模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セクションについて理解する |
| 2 | 目標・テーマ・各セクション決定 | 目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクションメンバーを決める |
| 3 | スケジュール・予算立て、デッサンシート作成 | チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う |
| 4 | 各セクション制作① | 各セクションごとに準備を進める |
| 5 | 各セクション制作② | |
| 6 | 各セクション制作③ | |
| 7 | 各セクション制作④ | |
| 8 | 紙上リハーサル | 完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う |
| 9 | 挙式リハーサル① | 挙式リハーサルを行う（各セクション、動きの確認） |
| 10 | 挙式リハーサル② | |
| 11 | 挙式リハーサル③ | |
| 12 | 全体リハーサル① | 全体リハーサルを行う（受付～誘導～挙式～お見送り） |
| 13 | 全体リハーサル② | 全体リハーサルを行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り） |
| 14 | 振り返り | 模擬挙式の振り返りを記入 |
| 15 | 総まとめ | 振り返りの返却・総まとめ |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----|--------|-----------------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルプロジェクトⅠB | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | ブライダルプロジェクトⅠB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | - | | 出版社 | - | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|------|--|--|
| 授業のねらい | ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける。業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーションが出来る。これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる。 | | | | |
| 評価基準 | 校内選考企業評価50% グループレポート30% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | マーケティング | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--------------|---|
| 1 | 後期行事について | ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く |
| 2 | 成績評価について | 成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する |
| 3 | チーム分け | チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する |
| 4 | 内容検討 | チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する |
| 5 | プレゼンテーション準備① | チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める |
| 6 | プレゼンテーション準備② | |
| 7 | プレゼンテーション準備③ | |
| 8 | プレゼンテーション準備④ | |
| 9 | プレゼンテーション準備⑤ | |
| 10 | リハーサル① | リハーサルを行う |
| 11 | リハーサル② | |
| 12 | リハーサル③ | |
| 13 | 本番 | コンペティション本番（授業外での開催の可能性もあり） |
| 14 | 振り返り | コンペティション振り返りを実施する |
| 15 | 総まとめ | 後期総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 花嫁着付けⅠA | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 花嫁着付けⅠA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め・腰ベルト・腰ひも・仮ひも・和装スリップ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋 | | 出版社 | 桜花出版 KW | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | きもの着付け3級取得 | | | | |
| 評価基準 | 検定試験40% テスト30% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格 | | | | |
| 関連科目 | 花嫁着付けⅠB・花嫁着付けⅡA・B | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 菅野 洋子 他1名 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | フォトスタジオ着付け3年・成人式/卒業式着付け13年・講師歴13年の実務経験に基づき、着付けの知識や実践を通して、即戦力となる育成をする。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------|--------------------------------------|
| 1 | 着付けについて | 教材小物の説明・記名を行う 取得資格について理解する |
| 2 | 小紋の着せ方① | 補正について、長襦袢の着せ方、たたみ方を学ぶ |
| 3 | 小紋の着せ方② | 小紋の着付け(組み合わせ)、着物のたたみ方を学ぶ |
| 4 | 小紋の着せ方③ | 小紋の着付け(衿合わせ)を学ぶ |
| 5 | 小紋の着せ方④ | 小紋の着付け(お端折の作り方)を学ぶ |
| 6 | 小紋の着せ方⑤ | 半幅帯について、小紋への蝶結びの方法を学ぶ 着物の名称の確認を行う |
| 7 | 小紋の着せ方⑥ | 小紋への蝶結びの方法を学ぶ |
| 8 | 小紋の着せ方⑦ | 仕上げの方法を学ぶ |
| 9 | 3級検定について | 検定試験の流れを確認する |
| 10 | 3級検定試験 | 小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方試験を行う |
| 11 | 着物の名称 | 着物の名称、漢字の読み方を学ぶ 浴衣の自装を行う |
| 12 | 浴衣の着せ方 | 浴衣の他装、半幅帯バリエーション、男性浴衣の着せ方を学ぶ |
| 13 | 小紋と名古屋帯① | 名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結びを学ぶ |
| 14 | 小紋と名古屋帯② | 普段着の着付け(紐使い)、小紋にお太鼓結び仕上げを学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 振袖について学ぶ 前期総まとめ(小物使いと紐使い)を行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 花嫁着付けⅠB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 花嫁着付けⅠB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め・腰ベルト・腰ひも・仮ひも・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋 | | 出版社 | 桜花出版 KW | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | きもの着付け2級取得 | | | | |
| 評価基準 | 検定試験40% テスト30% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格 | | | | |
| 関連科目 | 花嫁着付けⅠA・花嫁着付けⅡA・B | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------|-------------------------------------|
| 1 | 振袖の着せ方① | 振袖の着付け(紐使い)準備・たたみ方を学ぶ |
| 2 | 振袖の着せ方② | 袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方を学ぶ |
| 3 | 振袖の着せ方③ | 振袖にふくら雀びを行う |
| 4 | 振袖の着せ方④ | 振袖にふくら雀を行う 仕上げの方法を学ぶ |
| 5 | 振袖の着せ方⑤ | |
| 6 | 振袖の着せ方⑥ | |
| 7 | 振袖の着せ方⑦ | |
| 8 | 2級検定について | 検定試験の流れを確認する |
| 9 | 2級検定試験 | 振袖にふくら雀(30分)を行う |
| 10 | きものTPO | きものTPOを学ぶ |
| 11 | 留袖の着せ方① | 留袖について知る 留袖の着付け、二重太鼓の結び方を学ぶ |
| 12 | 留袖の着せ方② | 留袖の年齢別・体型別の着付けを学ぶ |
| 13 | 留袖の着せ方③ | 留袖の着付け・仕上げを学ぶ |
| 14 | 紋服の着せ方 | 紋服について知り、着せ方・たたみ方について学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 女袴について知り、着せ方・たたみ方について学ぶ 後期まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---|--------|-----------------|------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ベーシックメイクA | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ベーシックメイクA | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 電子版BASIC・ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる。 | | | | |
| 評価基準 | 筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定 | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 浦部 マキ 他1名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 美容師歴10年、その後ヘアメイク事務所に5年間所属し、メディアやブライダルヘアメイクを経験。 現在はフリーランスのヘアメイクとして、ブライダル等のヘアメイクを行っている経験を元に授業を展開する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | オリエンテーション | オリエンテーション教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ |
| 2 | 『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ | 『骨格と表情筋』顔の名称を覚える 手指消毒〜リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ |
| 3 | スキンケアについて学ぶ | 前回の復習 スキンケアの種類、方法を学ぶ実際に相モデルで行う |
| 4 | スキンケア実技・筆記小テスト① ファンデーション導入 | スキンケアの基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施 ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践 |
| 5 | アイメイクについて学ぶ① | 今まで学んだ箇の復習ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック) |
| 6 | アイメイクについて学ぶ② | 前回の復習 アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック) |
| 7 | アイブロウについて学ぶ① | 前回の復習 基本の眉のプロポーションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など |
| 8 | アイブロウについて学ぶ② | 前回の復習 アイブロウ相モデルで実践。左右対称に行い、形の違いを理解する |
| 9 | チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ | 前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ(3パターン行う) |
| 10 | フルメイクの練習① | 【テストに向けて】タイムトライアル(45分) ・時間内にメイクができるようになる / 技術を上させる(左右対称、自然な仕上がりなど)反復練習を行い技術力を上げる |
| 11 | フルメイクの練習② | 【テストに向けて】タイムトライアル(45分) ・時間内にメイクができるようになる / 技術を上させる(左右対称、自然な仕上がりなど)反復練習を行い技術力を上げる |
| 12 | フルメイクの練習③ 筆記小テスト② | 【テストに向けて】タイムトライアル(45分) ・時間内にメイクができるようになる / 技術を上させる(左右対称、自然な仕上がりなど)反復練習を行い技術力を上げる |
| 13 | フルメイクの練習④ | 【テストに向けて】タイムトライアル(45分) ・時間内にメイクができるようになる / 技術を上させる(左右対称、自然な仕上がりなど)反復練習を行い技術力を上げる |
| 14 | 実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて | タイムトライアルでフルメイクの実技テスト前日に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明 |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|------------|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ベーシックメイクB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ベーシックメイクB | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 2 |
| 時間数 | | | | | 45 |
| 使用教材 | 電子版BASIC・ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる。 | | | | |
| 評価基準 | 筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定 | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------------------------|--|
| 1 | ソフト理論を学ぶ | 検定について知る プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイクを行う |
| 2 | ソフトの練習 | 相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする) |
| 3 | シャープ理論を学ぶ・学習の振り返り | レクチャー・相モデルでポイントメイクを実践する ここまでの学習の振り返りを行う |
| 4 | シャープの練習 | 相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする) |
| 5 | ソフトORシャープの練習① | 検定に向けて実践練習 |
| 6 | ソフトORシャープの練習② | タイムトライアル制限時間内にメイクをする |
| 7 | 検定対策 | 検定と同様に実技練習を行う(スキンケア～フルメイク) 筆記試験対策を行う(苦手な部分を集中して練習) |
| 8 | メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて | プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ |
| 9 | メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて | 色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する(SWEET/ROMANTIC) |
| 10 | メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する(FEMININE/LUXURY)シーンに合わせたメイク…和装などに合うメイク |
| 11 | メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する(POP/NATURAL)シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク |
| 12 | メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク | イメージに合わせたメイクを理解する(COOL/CRASICAL)シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク |
| 13 | メイクの種類を学ぶ⑥ケース別メイク | メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるカラージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク |
| 14 | モデルの顔分析似合わせ | モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術 |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---|--------|-----------------|-----|-----------|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルネイルⅠA | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルネイルⅠA | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 2 |
| 使用教材 | テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ等 | | | 出版社 | 日本ネイリスト協会 |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | ネイルの基礎知識と技術を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 検定に向け時間内に仕上げることができる。 | | | | |
| 評価基準 | 筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定3級 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験初級 | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 成田 有美 他1名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 日本ネイリスト協会本部認定講師。サロンワーク歴19年を経て、ジェルメーカーエデュケーター、サロンワーク現役のため、業界の現状を踏まえ検定内容だけでなく実務で使える技術を教授する。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--|--|
| 1 | オリエンテーション テーブルセッティングについて | オリエンテーション(前期の流れとゴール設定、検定について) 教材チェック、テーブルセッティングのやり方について学ぶ(P70~72) |
| 2 | 【座学】ネイルの歴史 【実技】ファイリング、カットスタイル | ネイルの歴史(P8~13) 【実技】手指消毒、ファイリング、5種類のカットスタイル(P76、85~91) |
| 3 | 【座学】技術体系、爪の構造と働き 【実技】ファイリング、クリーンナップ | 技術体系(P14~15)を学ぶ爪の構造と働き(P16~19)、 【実技】ネイルケアのステップ、ファイリング~クリーンナップ(P73~74、77~81) |
| 4 | 【座学】皮膚科学 【実技】クリーンナップ | 皮膚科学(P20~22)を学ぶ 【実技】パフティング、クリーンナップ |
| 5 | 【座学】消毒法 【実技】クリーンナップ | 消毒法(P38~45)を学ぶ 【実技】クリーンナップ |
| 6 | 【座学】検定対策 【実技】パフティング、カラーリング | 小テスト、検定対策 【実技】パフティング、カラーリング、ポリッシュオフ(P75、82~84) |
| 7 | 【座学】皮膚科学、検定対策 【実技】アート | 皮膚科学(P20~22)を学ぶ、小テスト、検定対策 【実技】アート(P118~134) |
| 8 | 【座学】プロフェッショナリズム~衛生基準 【実技】3級検定対策 | 【筆記・実技】 3級検定対策 |
| 9 | 【座学】爪の病気とトラブル 【実技】3級検定対策 | 【座学】爪の病気とトラブル(P30~36)を学ぶ 【実技テスト】検定内容で実技テストを行う(検定対策) 【筆記テスト】 ネイル検定の3級に合わせた内容で筆記テスト行う 【3級検定対策】 何度も反復練習することで、施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る |
| 10 | 【実技】3級検定対策 | |
| 11 | 【筆記】テスト 【実技】3級検定対策 | |
| 12 | 【実技】テスト | |
| 13 | 【実技】テスト(予備日) | |
| 14 | 3級検定説明 | 3級の検定試験について、要項、DVDなどを使用して学ぶ |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|-----------|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルネイルⅠB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルネイルⅠB | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 2 |
| 使用教材 | テクニカルシステム、ネイル道具一式、ケア・カラー・アート用具一式、カラーボリッシュ、チップ、ジェル道具一式、チップラップ道具一式 | | 出版社 | 日本ネイリスト協会 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる。 検定に向け時間内に仕上げるができる。 | | | | |
| 評価基準 | 検定結果(3級)30% 検定結果(初級)30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む)20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験 | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | 3級検定説明 検定対策(実技) | 検定要項を使用し、3級検定について詳細を説明する 【実技】3級検定に向けタイムトライアルを行う(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) |
| 2 | 検定対策(実技)① | 【実技】3級検定に向けタイムトライアルを行う(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) 【筆記対策】過去問や小テストを使用しながら、筆記試験の対策を行う |
| 3 | 検定対策(実技)② | |
| 4 | ジェルネイル基礎理論 クリア、1カラー、オフ | ジェル検定初級(時期、内容)について知る / ジェルネイル基礎理論を学ぶ 【実技】プリパレーション、クリア、1カラー、オフについて学ぶ |
| 5 | ピーコック | ピーコックについて学ぶ 【実技】1カラー～ピーコックについて学ぶ |
| 6 | ジェル検定初級説明 ジェル検定初級対策 | ジェル検定初級について要項やDVDを使用して学ぶ 実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) |
| 7 | ジェル検定初級① | 実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) |
| 8 | ジェル検定初級② | |
| 9 | 筆記試験対策 実技試験対策 | ジェル検定初級の筆記内容で対策を行う 実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) |
| 10 | トレンドアート① | 流行のトレンドアートについて学ぶ |
| 11 | トレンドアート② | |
| 12 | カラーリング・アート① | カラーリング・アートについて学ぶ |
| 13 | カラーリング・アート② | |
| 14 | カラーリング・アート③ | |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|-----------------|------------|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアアレンジⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルヘアアレンジⅠ | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 1 |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる。 | | | | |
| 評価基準 | 実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 後藤 導絵 他1名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | フォトスタジオ勤務2年を経て、現在に至るまでブライダルヘアメイクとして15年以上勤務。他撮影・ヘアメイク・アイプロウリスト・プロ向けセミナー講師 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------------------|--|
| 1 | オリエンテーション ・ブラッシング・ブロッキング | オリエンテーション 教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明 |
| 2 | 黒ゴム結び ・ポニーテール | ゴムの結び方を習得する 10ブロック導入 |
| 3 | ポニーテール | ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する |
| 4 | 編み込み① | 表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み、丸三つ編み |
| 5 | 編み込み② (小テスト) | 編み込み小テスト |
| 6 | アイロンスタイリング | アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ |
| 7 | ピンニング① | ピンニングの留め方とバリエーションを学ぶ(ハーフアップでピンニングと巻きをチェック) |
| 8 | ピンニング② | ピンニングの留め方反復練習 |
| 9 | ピンニング③ (小テスト) | 学んだ技術の小テスト(ハーフアップ) |
| 10 | ホットカーラー① | ホットカーラーの巻き方を実践する |
| 11 | ホットカーラー②・逆毛導入 | ホットカーラー反復練習を行う・逆毛の立て方を説明(ボリューム逆毛+つなぎ逆毛) |
| 12 | ホットカーラー③ | ホットカーラー反復練習を行う&スクリュ逆毛でポニーテールからのカールアップ |
| 13 | ホットカーラー④ (小テスト) | ホットカーラー全頭20分を実施・練習&テストスタイル作成 |
| 14 | 実技テスト・筆記テスト | 前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する 前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----------------------------|--------|-----------------|------------|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルメイクⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルメイクⅠ | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | メイク道具一式 電子版BASIC/BRIDAL | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|--|------|--|--|
| 授業のねらい | ブライダルメイクの基礎としてベースメイクの質感や、ドレスやモデルに合わせて似合うメイク(色・形・バランス)を感覚的を身につけ技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で求められる考え方やセンス、メイクテクニックの応用に対応できる。 | | | | |
| 評価基準 | 実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--|--|
| 1 | 顔分析の基本 | プロポーション・プロポーションパーツ・フェイススタイル・ベースメイクを学ぶ |
| 2 | FACE STYLEに合わせた 錯覚メイクや色の錯覚つけまつげの付け方 | ベースメイク、アイブロウ、つけまつ毛のつけ方を学ぶ メイクの色遣いや形、明度、質感などの変化を学ぶ(練りハイライト、練りチークの使い方) |
| 3 | FACE STYLE①(キュート) | メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする |
| 4 | FACE STYLE②(エレガント) | |
| 5 | FACE STYLE③(フレッシュ) | |
| 6 | FACE STYLE④(クール) | |
| 7 | モデル・似合わせメイク① モデルの顔の特徴と同じメイクパターン | デッサンを描く⇒余白や特徴を覚えて理解する 学んだ知識を踏まえ顔の分析ができるようになる |
| 8 | モデル・似合わせメイク② モデルの顔の特徴と正反対のメイクパターン | ①素肌の状態から4パターンにするにはどうしたらよいかを考える ②相モデルで顔分析しデザインシートにどんなテクニックが必要か考える |
| 9 | モデル・似合わせメイク③ モデルの顔の特徴とドレスに合わせたメイクパターン | ③モデルの素肌状態は4パターンの内どれかを分析後、顔の長さ、パーツの位置、パーツの形、色、などこれまで学んだ技術を通じ逆パターンのイメージに仕上げる |
| 10 | FACE STYLE分析メイク 実技の確認 | 今まで4つのパターンより、モデルに合わせた顔の分析し、デッサンとメイクをしテーマに合わせる |
| 11 | 成人式メイク① | 成人式メイクを知る 振袖に合わせたメイク・肌の作り方・カウンセリング、提案方法を学ぶ |
| 12 | 成人式メイク② | 振袖に合わせたメイクの実践を行う |
| 13 | 半期の学習内容の確認(知識・デッサン) | これまでの授業で学んだ内容の確認を行う(知識・デッサン) |
| 14 | 半期の学習内容の確認(実技) | これまでの授業で学んだ内容の確認を行う(実技) |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------------------------|--------|-----------------|------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアアレンジⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルヘアアレンジⅡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 45 |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ヘアアレンジの基礎力を反復練習でしっかりと定着させ、ヘアアレンジの応用ができる。 | | | | |
| 評価基準 | 実技テスト40% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)40% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------|--|
| 1 | カールアップ① | カールスタイルのアレンジ・構成を学ぶ ※サイドアップ含む |
| 2 | カールアップ② | |
| 3 | カールアップ (技術確認) | 巻きを含めずカールスタイルの技術の確認を行う |
| 4 | カールアップ③ | 逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ ※ベーシックなトップカールアップorリーゼント (ウィッグ) |
| 5 | カールアップ (技術確認) | 巻きを含めずカールスタイルの技術の確認を行う |
| 6 | 重ね夜会巻き① | 夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ |
| 7 | 重ね夜会巻き② | 夜会巻きにおけるピンギの留め方とバリエーションを学ぶ |
| 8 | 本夜会巻き① | 本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ |
| 9 | 本夜会巻き② | 本夜会巻きのスタイルをウィッグで練習 |
| 10 | 技術確認 | 重ね夜会か本夜会のどちらかで技術の確認を行う |
| 11 | 相モデル① | 今まで学んだスタイル (カールスタイル・面スタイル) を相モデルで実践を行う |
| 12 | 相モデル② | |
| 13 | 相モデル③ | |
| 14 | 相モデル④ | |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---|--------|-----------------|------------|---|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | ブライダルヘアメイクⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ブライダルヘアメイクⅠ | | |
| 開講 | | | | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 単位数 | 1 |
| 時間数 | 30 | | | | |
| 使用教材 | 電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン 電子版BASIC | | 出版社 | 株式会社ユアサポート | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|--|--|------|--|
| 授業のねらい | ヘアアレンジの基礎的な技術を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができるようになる。 基礎的な技術を身に付け、繰り返すことで基礎を固め応用力にいかすことができる。 | | | | |
| 評価基準 | 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)30% 授業態度40% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | — | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------------|--|
| 1 | カールアップ① | 後期カールスタイルのアレンジ(前期のスタイル復習)逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ※サイドアップ含む |
| 2 | カールアップ② | 後期カールスタイルのアレンジ 逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ |
| 3 | カールアップ③ | |
| 4 | カールアップ(技術確認) | カールアップスタイルの技術の確認を行う |
| 5 | ヘアメイク プロポーション① | ～ベーシックメイクテキスト使用～ ヘアメイクの顔の基準を知り |
| 6 | ヘアメイク プロポーション② | メイクのトータル的な技術を学ぶ メイクの質感などを知る |
| 7 | ヘアメイク プロポーション③知識確認 | 似合わせメイク等 |
| 8 | 夜会巻き～重ね夜会①～ | 夜会巻き(重ね夜会)のスタイル構成と面の出し方を学ぶ |
| 9 | 夜会巻き～重ね夜会②～ | |
| 10 | 夜会巻き～重ね夜会③～ | |
| 11 | 夜会巻き～本夜会①～ | 夜会巻き(本夜会)のスタイルを展開図から学ぶ |
| 12 | 夜会巻き～本夜会②～ | |
| 13 | 重ね夜会・本夜会の夜会巻きの復習・練習 | スタイルの復習・練習を行う |
| 14 | 実技確認 | 重ね夜会巻き又は本夜会巻きのどちらかを選択し実技確認を行う |
| 15 | 総合学習 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|------------|------------------------------------|--|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | ドレスフィッティング | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ドレスフィッティング | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 1 | 30 | |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|------|--|--|
| 授業のねらい | ドレスデザインA・Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | ドレスショップでの接客、衣装の補正方法を理解しフィッティング時の基本的な対応や時間内での接客対応、コーディネートの提案ができる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト50% 実技30% 授業態度20% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | ドレスデザインAB・ソーイング&メンテナンスⅠ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 1 | 自己紹介・ドレス室マナー | ドレス室の使用方法を理解する 衣装(ドレス・タキシード)扱い方・パニエ・ベールのたたみ方・ハンガーの種類等を知る |
| 2 | ブライダルインナーについて | ブライダルインナーの必要性を知る、種類と対応方法を学ぶ インナーの着用方法を学ぶ |
| 3 | ドレスの採寸実習 | 採寸実習を行う |
| 4 | 新婦の洋装フィッティング① ブライダルインナーの着せ付け | ドレス選択からフィッティング実習を行う インナーの着せ付け方法を実践する |
| 5 | 新婦の洋装フィッティング② | ドレス選択からフィッティング実習を行う |
| 6 | 新婦の洋装フィッティング③ | |
| 7 | 新郎の洋装フィッティング 列席者衣装フィッティング | 新郎の洋装(タキシード)補正技術について学ぶ 列席者衣装(モーニングコート)フィッティングについて学ぶ |
| 8 | カウンセリング基本 | カウンセリングシートを用いて基本的な聞き取り方法を学ぶ ペアでカウンセリングのみロールプレイングを行う |
| 9 | プレゼン基本 | プレゼンテーションのポイントを学ぶ カウンセリングした内容からドレスを1着選び、どのように提案していくかプレゼン内容をノートにまとめる |
| 10 | 洋装フィッティング① | 先週まとめたものをフィッティングしながら実践する |
| 11 | 洋装フィッティング② | 全員の前でフィッティング+プレゼンの実践を行う(1人7分程度) |
| 12 | 洋装フィッティング③ | |
| 13 | 私服コーディネート | 私服で採用試験に臨むケースが増えてきている為、各自私服のコーディネートとその内容をプレゼンを行う |
| 14 | 補正の確認 | 補正の確認を行う |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|------------------|------------------------------------|--|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | ドレスソーイング&メンテナンスⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | ドレスソーイング&メンテナンスⅠ | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 1 | 30 | |
| 使用教材 | The Business of Wedding Attire & Styling | | 出版社 | 全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | ドレススタイリストの仕事の一環である、素材に合わせた、シミ抜き・補正(裁縫)・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 生地の種類やドレスのタイプによるメンテナンス方法や裁縫技術を習得する。 | | | | |
| 評価基準 | テスト50% 作成物30% 授業態度(提出物含む)20% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | — | | | | |
| 関連科目 | ドレスデザインA・ドレスデザインB・ドレスフィッティング | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--------------|-----------------------------------|
| 1 | ドレスの素材の知識 | ドレスの素材と取り扱いについて学ぶ |
| 2 | アイロン実習 | 手アイロン、スチームアイロンについて学ぶ アイロン実習を行う |
| 3 | 縫製の知識と製縫実習① | 縫製の知識を学ぶ 流しまつり・返し縫いの練習を行う |
| 4 | 縫製の知識と製縫実習② | |
| 5 | 縫製の知識と製縫実習③ | 縫製の知識を学ぶ 奥まつり縫い・コの字縫いの練習を行う |
| 6 | 縫製の知識と製縫実習④ | 千鳥かけ ループ スパンコールについて学ぶ |
| 7 | 縫製の知識と製縫実習⑤ | ボタン スナップ ホックについて学ぶ |
| 8 | 縫製の知識と製縫実習⑥ | ミシンの扱い方について学ぶ |
| 9 | リングピロー作成① | デザイン製図を行う |
| 10 | リングピロー作成② | デザイン製図を行う 生地縫断 縫製 装飾を行う |
| 11 | リングピロー作成③ | |
| 12 | しみ抜き実習 | 汚れの知識とシミ抜き方法口紅、ファンデーションの汚れを取る |
| 13 | 和装(着物)の素材の知識 | 着物の素材、加飾技法、取り扱いについて学ぶ |
| 14 | 知識・技術確認 | ここまでの授業内容の知識・技術確認の確認を行う |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----|--------|-----------------|-----|-----|
| 授業形態 | 実習 | 科目名 | インターンシップⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | インターンシップⅠ | | |
| | | 開講 | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | ブライダルヘアメイク&ドレス科 | 2 | 60 |
| 使用教材 | - | | 出版社 | - | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。相手の立場に立った物の考え方ができる。 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを實踐できる。 | | | | |
| 評価基準 | 企業側評価75%（評価表にて採点） 学校評価25%（レポート） | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | - | | | | |
| 関連科目 | - | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | | | |
| 担当教員 | 藏下 華蓮 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |